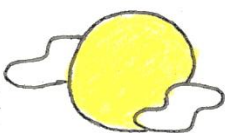


スナメリ通信

2021年10月 秋号



諫早 ティーンズ でホームページを検索しよう!

みなさんこんにちは! 西陵高校図書部です。
 秋は、一年のなかでも過ごしやすい季節。
 スポーツや勉強の秋とも言われますが、図書館
 といったらやっぱり「読書の秋」。秋の夜長に
 読んでもらいたい本を集めました。

捉上今日子の鑑札票

西尾維新・講談社

殺人事件の容疑者と疑われた隠館厄介は冤罪を晴らすため探偵の捉上今日子に事件解決を依頼する。しかし彼女は事件解決中何者かに狙撃され一命を取り留めるが、彼女が持っていた最速の推理力と忘却性質を失ってしまった。一体誰が、何の目的で彼女を撃ったのか…。犯人探しに奔走する厄介の前にFBIの捜査官を名乗る人物が現れる。どうやら彼は探偵になる前の捉上今日子を知っている様子で…?!

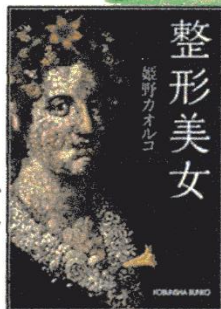
物語の核心に迫る捉上今日子シリーズ第13弾!



ツナグー 想い人の心得

辻村深月・新潮社刊

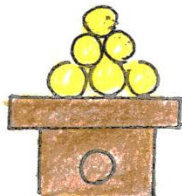
一生に一度だけ死者との再会を叶える使者「ツナグー」。長年にわたってその務めを果たした祖母から「ツナグー」としての役割を引き継いだ渋谷歩美は、会社員として働きながら依頼を受けています。そんな彼女のもとに亡き人との面会を望み訪れる依頼者たちは、いろいろお思いを胸に秘めていて…。「もし、大切な人が死んでしまったら…。そんなことを考えさせられる作品です。この作品は「ツナグー」の続編にあたる作品ですが、前作を読んでいなくても楽しめます。ぜひ前作も読んでみて下さい。



「整形美女」

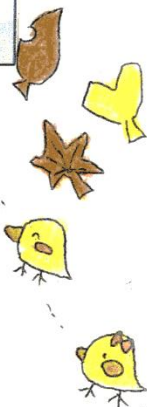
姫野カオルコ・光文社文庫

二十歳の蘭村甲斐子は瞳が大きく、鼻が高く…そんな女性だった。一方同郷の望月阿倍子は瞳が小さく、鼻が低い女性だった。そんな二人は整形をした。阿倍子は甲斐子の写真を医師に見せてそっくりな容姿に、そして甲斐子は、自分と正反対の外見を望み、阿倍子のような容姿になった。何故美容のか、何故幸せか、読む人にとって様々な考え方があふれる「整形」はその人にとって何を意味するのか…。



西陵インフォメーション

夏休みが終わり西陵高校二大行事である体育祭・文化祭が行われる予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染拡大により中止となりました。思うように学校生活が進められない日々が続きますが、制約のある中で、何かできるのかを考えながら、西陵らしく明るく元気に毎日を送っています。



📖 新刊 入りました

読書の秋。なに読む？

★『クジラの骨と僕らの未来』 中村 玄／著 理論社

☆『人類がもっと遠い宇宙へ行くためのロケット入門』 小泉 宏之／著 インプレス

★『闇の魔法学校 Lesson1』 ナオミ・ノヴィク／著 井上 里／訳 静山社

フリースペースの
利用について
<10月・11月>

企画展示や開館時間
の変更により、利用
が制限されることが
あります。
ご了承ください。

この本
読んでみんね！

『内戦の地に生きる』

橋本 昇／著 岩波書店 2019.4 分類 319 ハ

著者は 30 年にわたり写真家として、国内の被災地や海外の内戦、難民を取材してきた方です。

本書は 1990 年代から 2000 年代にかけてのソマリア、南アフリカ、アフガニスタン、カンボジアなどの地域が紹介されています。それぞれの国に暮らしている普通の人たちの怒りや悲しみ、絶望、希望などが伝わる文章です。一つの国ごとに短く章が分かれているので、気になる地域から読むことができます。最初に写真が掲載され、次にその写真にまつわる地域の様子が書かれています。

今とは様子が違う国もあるかもしれませんが、「生きる」ということはどういうことかを改めて教えてくれる一冊です。



スナメリ通信 NEWS

たらみ図書館には宇宙人がいる…？！



たらみ図書館のティーンズコーナーに宇宙人がいるのを知っていますか？

この宇宙人の正体とはいったい…？

こちらの宇宙人は、長崎日本大学高等学校デザイン美術科の卒業生の方々が高校在学中に制作した作品です。

「宇宙人」の他に、「キツネ」や「シカ」を学校からお借りして、ティーンズコーナーやフリースペースに展示させていただいています。

たらみ図書館にお越しの際は、作品を探してみてくださいね！

足には紅葉が！
秋を感じられますね。



キツネは
フリースペースに
いるんですよ！

